


事業番号	05 10 03	事業改善シート（令和3年度実施事業分） ■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	権利擁護推進事業	部局	健康福祉部	課・室	障がい者支援課
		実施期間	H3 ~	E-mail	shogai-shien@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	健康寿命				
総合的に展開する重点政策	3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり		5-1 多様性を尊重する共生社会づくり		

1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	【目指す姿】 障がいの有無にかかわらず全ての人々が、相互に理解を深め、支え合う「心のバリアフリー」を推進するとともに、障がいを理由とした不当な差別的取扱いや虐待を受けることがないように、障がい者の権利を擁護する取組を推進し、共生社会の実現を目指す。	
	【これまでの取組】 ・障がい者の虐待に関する相談対応や市町村との連絡調整等を実施 ・障がいを理由とする差別解消の相談対応や合理的配慮への理解を促進 ・ろう者が地域で安心して生活できるよう、手話の普及や手話を通じてろう者と交流する場を創出	
令和2年度点検結果 現状分析	課 題	今後の方向性
	・障がいの有無にかかわらず、誰もがお互いに人格と個性を尊重し、ともに支え合う「共生社会」を実現するためには、社会モデルの考え方を前提として、様々な心身の障がいを正しく理解し、必要かつ合理的な配慮を考え、社会の仕組みを変えていくことが必要	・共生社会実現のための新しい条例の制定とともに、障がい者に対する合理的配慮への理解を促進 ・障がい特性や必要な配慮等を理解し、手助けする「信州あいサポート運動」や、援助や配慮が必要な方が周囲に知らせる「ヘルプマーク」を普及 ・障がい者権利擁護(虐待防止)センターによる虐待に関する相談対応や市町村への助言等及び施設従事者等を対象とした障がい者虐待防止研修を実施

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	✓ 障がいへの理解や配慮の推進 ・「長野県障がい者共生社会づくり条例（仮称）」の制定に向けた検討 ・虐待防止や差別解消など、障がい者の権利擁護の推進 ・障がい者への配慮を求める「信州あいサポート運動」の推進や「ヘルプマーク」の普及	 「信州あいサポート運動」 「ヘルプマーク」
	✓ 手話の普及や交流の促進 ・「長野県手話言語条例」に基づく手話の普及のための講座を開催 ・ろう者とろう者以外の者が手話を通じて交流する活動を支援	

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値	区分(単位:千円)			
		R1年度	R2年度	R3年度	前年度繰越	R1年度							R2年度	R3年度	要求	予算案
1	あいサポーター研修等の実施回数	113回	82回 ↓	30回 ↓	前年度実績以上	事業コスト	予算額	前年度繰越		0	0		要求	32,421	予算案	—
2	虐待防止研修出席法人数の割合	78%	71.2% ↓	72% ↑	前年度実績以上			当初予算	29,638	28,835		要求	32,421	予算案	—	
3	手話講座参加者数	205人	444人 ↑	200人 ↓	前年度実績以上			補正予算	0	0		要求	32,421	予算案	—	
4								合計(A)	29,638	28,835		要求	16,259	予算案	—	
5								うち一般財源	17,976	17,144		要求	16,259	予算案	—	
							決算額(B)	22,971								
							職員数(人)		7.35	7.35						7.35
成果指標設定理由	1 障がい等の理解促進を進めるため、信州あいサポート運動の担い手である「あいサポーター」を養成するあいサポーター研修等の実施回数が前年度以上となるように成果目標を設定 2 施設従事者等が障がい者虐待防止の正しい理解と知識の習得を図るため、虐待防止研修への出席法人数の割合が過去3か年の水準を維持できるように成果目標を設定 3 手話やろう者に対する理解を深めるため、手話講座の参加者数について、前年度の実績以上となるように成果目標を設定															